

日光医療センター通信

～いろは～



第 54 号
2026.5



ムギナデシコと日光連山（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（脳神経内科）	2
部門紹介（健診部）	4
第9回みんなで学ぶ健康講座を開催	5
外来担当医一覧	6
連携医療機関認定病院紹介	7
日光医療センター Facebook の紹介 / 求人情報 / 編集後記	8



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 脳神経内科

当センターの脳神経内科は、平成26年4月に2名の常勤医師体制で診療を開始し、地域の皆さまに支えられながら体制の充実を図ってまいりました。令和7年度には常勤医師4名体制となり、令和8年4月からは土屋医師・大沼医師・渡邊医師の3名体制で、引き続き質の高い医療の提供を目指してまいります。

脳神経内科では、脳や神経、筋肉に関わるさまざまな病気を専門的に診療しています。具体的には、脳血管障害（脳梗塞・脳出血など）、てんかん、頭痛、認知症、パーキンソン病やその関連疾患、末梢神経障害、筋疾患など、幅広い疾患に対応しています。

症状としては、「もの忘れが気になる」「手足がしびれる・力が入りにくい」「歩きにくい」「ふるえがある」「頭痛が続く」「けいれんが起こる」といった、日常生活に関わるさまざまな神経症状に対し、専門的な視点から診断・治療を行っています。必要に応じて入院での精査・加療にも対応しており、患者さん一人ひとりの症状に応じて、急性期から慢性期まで一貫した診療体制を整えています。当センターは、地域において入院が可能な脳神経内科を有する医療機関として重要な役割を担っており、多くの医療機関から患者さんをご紹介いただいております。

■ 認知症診療と最先端医療への取り組み

近年の高齢化に伴い、認知症の患者さんは増加しています。当センターでは、軽度認知障害（MCI）から認知症まで幅広い段階の方を対象に、「もの忘れ専門外来」を設置し、丁寧な診断と治療を行っています。さらに、アミロイド抗体療法などの新しい治療にも取り組み、地域において最先端の医療を提供しています。

■ 地域とともに取り組む認知症啓発 — D-CATの活動

当センターの大きな特徴の一つが、認知症に対する啓発活動です。認知症認定看護師、認知症認定検査技師、認知症専門医をはじめ、薬剤部、リハビリテーション部、地域連携・入退院支援センター、栄養部、医事課、放射線部など、多職種が連携しながら認知症診療と支援に取り組んでいます。市民公開講座では寸劇などを取り入れ、認知症についてわかりやすく伝える活動を行っています。また院内では、毎年職員を対象とした認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解の輪を広げています。

こうした活動の中心として、

「獨協ディメンシア・ケア・アクションチーム（D-CAT）」

を立ち上げました。

D-CATは、医療従事者だけでなく地域全体で認知症に向き合い、支え合うことを目的としたチームです。ロゴを掲げ、活動の象徴として発信することで、認知症への理解をより広く深く届けていきます。今後も地域とともに歩む取り組みとして、さらなる発展を目指してまいります。



■ チーム医療によるパーキンソン病への継続的な診療

パーキンソン病の患者さんに対しては、脳血管リハビリテーション部と連携し、患者さん向けの勉強会や支援活動を定期的に行っています。症状悪化時には入院でのリハビリテーションにも対応しており、多職種で支えるチーム医療により、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を目指しています。

● 地域の皆さまへ ●

高齢化が進む現代において、脳神経内科の役割はますます重要になっています。私たちは地域の皆さまの健康を支える「要」として、安心して受診していただける医療を提供できるよう、これからも努力を続けてまいります。

脳神経内科受診のご案内とお願い

【初診受付時間】

平日9時～11時（木曜日・土曜日を除く）

【もの忘れ専門外来】

予約制となっております。事前にお問い合わせください。

より適切で円滑な診療を行うため、受診の際には可能な限り、かかりつけ医からの紹介状（診療情報提供書）や、これまでの検査結果・画像データ（CD-ROMなど）をご持参いただきますようお願いいたします。これにより、これまでの経過を踏まえた診療が可能となり、不要な検査の重複を避けるとともに、待ち時間の短縮にもつながります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



市民公開講座での寸劇



病院職員を対象とした認知症サポーター養成講座



社会復帰を目指す脳血管リハビリテーション



多職種で編成された認知症ケアチーム

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 健診部

【業務内容】

健診部では、1泊2日人間ドック、企業健診及び一般健診等、様々なサービスをご提供しております。

【スタッフ】

健診部は、安健診部長及び健康診断のエキスパートとして松本特任教授が担当しています。その他にも各診療科の専門医や看護師・臨床検査技師・診療放射線技師等及び事務員が担当しています。

【特徴】

当センターの1泊2日の「温泉宿泊型人間ドック」は、鬼怒川温泉・日光周辺で契約しているホテルからお選びいただき、宿泊することができます。

温泉とおいしいお食事をお楽しみいただき、健康管理と心身のリフレッシュを同時にできるプランとなっております。検査自体は1日で終了するため、2日目はゆっくりと過ごすことができます。県内の方はもとより、県外さらには海外の方にもご利用いただき、好評をいただいております。

健診部では企業・各組合との契約により、生活習慣病予防健診・1日人間ドック等もお受けしていますので是非ご利用ください。

人間ドック・健康診断等についてご不明点等ございましたら、お気軽に健診部までご相談ください。

健診部一同心よりお待ちしております。



第9回みんなで学ぶ健康講座を開催

地域連携・入退院支援センター

去る令和8年1月24日（土）、日光市下板橋自治会の皆さまを対象に、市民健康講座「第9回みんなで学ぶ健康講座」を開催いたしました。

当日は、会場となった下板橋公民館に、自治会長をはじめ多くの自治会員の皆さまが、開始の2時間以上前からお集まりくださり、会場設営にもご協力いただきました。

当センター泌尿器科の幸 英夫先生が講師を務め、「尿漏れと頻尿についてのおはなし」の演題にて講演されました。参加されました34名の自治会員の皆さまは、耳を傾けメモを取るなど、大変熱心に聞き入っておりました。

講演後の質疑応答では、日頃の生活で気を付けるべき点など、多くのご質問が寄せられ、終始和やかな雰囲気でした。

当センターでは、これからも地域に根差した病院として、患者さんに選ばれる病院を目指し、引き続き健康講座を精力的に開催してまいります。



連携医療機関認定病院紹介 竹村内科腎クリニック

皆様こんにちは。日光医療センター医療連携施設の一つである竹村内科腎クリニックの紹介をいたします。竹村内科腎クリニックは、体も心もやさしく癒してくれる医療機関を目指し、鹿沼市郊外の本々に囲まれた閑静な場所に開院しました。質の高い医療サービスを提供できる医療機関として、最新式のMRI、CT、血管造影装置など高度医療機器を導入しており、またきれいな水にこだわった、世界初の環境ホルモンフリー透析を実施している県内最大の透析医療機関です。地域医療の中核医療機関として、19床の入院設備を完備し、腎不全はもちろんのこと、肺炎 糖尿病、心不全、脳梗塞など入院が必要な重症の内科系疾患の治療も行っております。

またリハビリセンターを併設し、理学療法士や専門医によるリハビリ治療を行い、ADLの低下した患者様の生きる意欲をサポートしております。ISO9001,日本腎臓病学会研究施設、日本透析医学会教育関連施設としての認証を取得しております。介護施設も併設しており、毎年クリスマスコンサートを開催しております。昨年は、ピアニスト小原孝さんとU字工事に出演していただき大盛況でした。

副院長は、腎臓内科専門医であり、最先端の医学知識が非常に豊富です。ご存じの方も多いと思いますが、講演者として各地に引っ張りだこです。

部長は、副院長の弟で、兄弟仲良しです。専門は呼吸器ですが、東洋医学が得意で、彼の漢方処方方は非常に勉強になります。とてもまじめですが、時々おやじギャグを発します。

院長の私は、マラソンが大好きで、世界6大マラソンを走破した、世界で3083人目のSix Star Finisherです。「幸せは運動から」という理念を持っています。

最近では精神的健康に重きをおいており、2020年、日本最初の腎臓の神を祭った神社、蚕豆（ソラマメ）神社を鹿沼市に建立しました。日本各地から腎臓の悪い患者様や家族が参拝にいらっしゃいます。御朱印や腎臓疾患に特化したお守りが大人気です。気になったらぜひ訪れてみて下さい。



院長 竹村 克己 先生



蚕豆（ソラマメ）神社



日光医療センター Facebookの紹介

日光医療センター Facebookページは、開設からこれまで、地域の皆さまに当センターの紹介記事をお届けしてまいりました。

医療従事者しか入れない場所や患者さんに知ってほしいことなど、様々な情報を分かりやすく発信していますので、ぜひ「いいね！」や「フォロー」をしていただけますと幸いです。

地域社会の信頼に応える基幹病院として、医療を求める人々におもいやりの心を持って接し、安心・安全かつ高度で良質な医療を提供します。

▶ Facebookページはこちら



当センターと一緒に働いてみませんか？

**医師事務作業補助者
 募集中**
(パートタイム)
 詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288-23-7000 (内線 3204)

編集後記

新緑が輝き、清々しい空気に満ちた季節となりました。今号の「日光医療センター通信」をお読みいただき、ありがとうございます。

昨年から広報を担当することとなり、今回が初めての編集後記の執筆となりました。慣れない点もありますが、地域の皆さまに当センターの取り組みや、健康づくりに役立つ情報を分かりやすくお届けできるよう、精いっぱい努めてまいります。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあります。どうぞお身体を大切にお過ごしください。次号もよろしく願いたします。(T.K)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第54号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000(代表) FAX 0288-23-5000
<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>
 発行年月/令和8年5月
 編集・発行/獨協医科大学日光医療センター
 広報・マーケティング委員会
 印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら
<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/>
 または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。